

TES会中部支部 第132回クレーム事例勉強会

検討年月日	2019/2/15		Cグループ						
品名(写真)	ダウンコート(カーキ/茶)								
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601	
	表地 ナイロン 100%		104	202	302	402	502	602	
	裏地 ナイロン 100%		105		303	403		603	
	中わた ダウン 90%		106		304		604		
	フェザー 10%		107						
	衿部 毛皮(ラクーン)		ネット		あて布				
			無蛍光						
			中性						
申し出クレーム内容	色が変わってしまったクレーム品だが、元色に関する情報はない								
クリーニング処理法	ドライ石油系処理後、保管								
グループ検討内容	・袖口内側は茶色であることから元は茶色だった可能性がある ・袖口等が部分的に変色していることから、Noxガスによる変色がもっとも疑われるが、袖口内側の表地返し部分は変色していないことから、Noxガス変色と断定できない ・裏地は茶色である ・3ヶ所のファスナー引手は鮮やかなグリーンである(配色使いかも) ・石油系ドライ溶剤の残留も考えられるが、残留による変色事例は聞かないという ・原因は特定できない (グループ以外の参加者から) ・茶がグリーンに変色することはあっても、染色の特性から逆の変色は考えにくい								
検査機関検討内容	【外観観察】 全体的に褐色に変色しているが、特にステッチの周辺がより変色しているように観察される。 【推察】 ドライクリーニング(石油系)処理後、返却時のビニールをかけたまま保管した可能性が考えられる。また、石油系溶剤が乾きにくいことが知られている。 カット不可の状況での推察としては、石油系溶剤が完全に乾燥しておらず、①ステッチからの色泣き、②裏地からの色泣き、③羽毛の汚れ成分の染み出し、が発生した可能性が疑われる。 また、保管状況によるが、NOxガスや防虫剤(の昇華)による変色の可能性も否定できない。								